

束芋

1975 兵庫県生まれ
 1999 京都造形芸術大学 芸術学部 情報デザインコース卒業
 現在 長野県在住

個展

2024 「そのあと」 ギャラリー小柳 (東京)
 2023 「Nest」 Kunstforeningen GL Strand、コペンハーゲン (デンマーク)
 2020 「Ghost Running Vol.2」 Gallery KIDO Press (東京)
 2019 「透明な歪み」 ポーラミュージアムアネックス (東京)
 「Ghost Running」 Gallery KIDO Press (東京)
 2018 「flow-wer arrangement」 ギャラリー小柳 (東京)
 「束芋：ズンテントンチンシャン」 Gallery KIDO Press (東京)
 「Tabaimo: Clue to Utsushi」 James Cohan Gallery、ニューヨーク
 2017 「Hammer Projects: Tabaimo」 ハマー美術館、ロサンジェルス
 2016 「Tabaimo: Utsutsushi Utsushi」 シアトル・アジア美術館
 「Tabaimo: Her Room」 サンノゼ現代美術館 (アメリカ)
 2015 「息花」 ギャラリー小柳 (東京)
 「Tabaimo: aitaiei-josei」 アルル・ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ財団美術館、アルル (フランス)
 2014 「Tabaimo: MEKURUMEKU」 オーストラリア現代美術館、シドニー
 2011 「Tabaimo: DANDAN」 James Cohan Gallery、ニューヨーク
 「束芋：てれこスープ」 第54回 ヴェネチア・ビエンナーレ 日本館、ヴェニス
 2010 「ててて」 ギャラリー小柳 (東京)
 「Tabaimo: Boundary Layer」 パラソル・ユニット、ロンドン
 「Tabaimo: emerge as」 シンガポール・タイラー・プリント・インスティテュート (シンガポール)
 2009 「断面の世代」 横浜美術館 (神奈川) / 国立国際美術館 (大阪、2010)
 「TABAIMO」 スtockホルム現代美術館 (スウェーデン)
 2008 「ハウス」 ギャラリー小柳 (東京)
 「TABAIMO」 James Cohan Gallery、ニューヨーク
 2006 「TABAIMO」 カルティエ現代美術財団、パリ
 「ヨロヨロン 束芋」 原美術館 (東京)
 「台所にて」 高橋コレクション神楽坂 (東京)
 2005 「指弁」 ギャラリー小柳 (東京)
 「TABAIMO」 James Cohan Gallery、ニューヨーク
 2003 「お化け屋敷」 原美術館 (東京)
 「につぼんのちっちゃい台所」 ギャラリー小柳 (東京)
 「New Print Work」 HIROMI YOSHII + ギャラリー小柳 ヴューイングルーム (東京)
 「束芋：夢違え」 原美術館 ARC (群馬)
 「束芋：おどろおどろ」 東京オペラシティアートギャラリー (東京)
 「束芋のケタケタ」 康ギャラリー (東京)
 2002 「束芋『につぼんの御内』展」 IMA：インターネット美術館
 2001 「Tabaimo - The Japanese Bathhouse」 チャプター、カーディフ (イギリス)
 2000 「キリン コンテンポラリー・アワード 1999 最優秀作品賞受賞作家 束芋展」 キリンプラザ大阪
 「につぼんの横断歩道 束芋展」 ギャラリー16 (京都)
 1999 「につぼんの台所 束芋展」 立体ギャラリー射手座 (京都)

グループ展

- 2024 「1995 ⇄ 2025 30年目のわたしたち」兵庫県立美術館
 「一現代美術の室礼II 一村山秀紀の眼と手」日本橋高島屋 S.C.本館 6 皆 美術画廊 X (東京)
 「心のまんなかでアートをあじわってみる」原美術館 ARC (群馬)
 「日本現代美術私観：高橋龍太郎コレクション」東京都現代美術館
 「触れてなどいない」寺田倉庫 (東京)
 「ONE SINGLE BOOK」ギャラリー小柳 (東京)
 「カルティエと日本 半世紀のあゆみ 『結 MUSUBI』展ー 美と芸術をめぐる対話」東京国立博物館表慶館
- 2023 高橋龍太郎コレクション 「ART de チャチャチャー日本現代アートのDNAを探るー」WHAT MUSEUM (東京)
- 2022 「Renoir, Monet, Gauguin – Images of a Floating World」Museum Folkwang、エッセン (ドイツ)
- 2021 「六甲ミーツ・アート芸術散歩2021」風の教会エリア (兵庫)
- 2020 「Enchanted Worlds: Hokusai, Hiroshige and the Art of Edo Japan」Auckland Art Gallery、オークランド (ニュージーランド)
 「シュルレアリスムと絵画 ーダリ、エルンストと日本の「シュール」」ポーラ美術館 (神奈川)
- 2019 「横浜美術館 開館30周年記念 Meet the Collection ーアートと人と、美術館」横浜美術館 (神奈川)
- 2018 「東芋→中川幸夫」ギャラリー小柳 (東京)
- 2016 「”Jitto” curated by Tabaimo」Anne Mosseri-Marlio Galerie、バーゼル (スイス)
- 2015 「われらの時代：ポスト工業化社会の美術」金沢21世紀美術館
- 2013 「木屋の染み」木屋旅館、AT ART UWAJIMA (愛媛)
 「HOMEwork: Selections from the Asia Society Museum Collection」アジアソサエティ、ニューヨーク
- 2012 「THE BEAUTY OF THE MOMENT」リートベルク美術館、リートベルク (スイス)
 「The Collectors Show: Chimera」シンガポール美術館
- 2010 「Philagrafika 2010: THE GRAPHIC UNCONSCIOUS」Philadelphia Museum of Art、フィラデルフィア (アメリカ)
- 2008 「モバイルアート」スター・フェリー停車場、香港／国立代々木競技場オリンピックプラザ、東京／ラムジー・プレイフィールド、ニューヨーク
 「Great New Wave; Contemporary Art from Japan」Art Gallery of Hamilton、ハミルトン (カナダ)
 「MANGA」ルイジアナ美術館、ムレベック (デンマーク)
- 2007 「GOTH」横浜美術館
 「Momentary Momentum: Animated Drawings」パラソルユニット、ロンドン
 「Geopolitics of the Animation」Centro Andaluz de Arte Contemporáneo、セビーリャ (スペイン)
 「第 52 回ヴェネチア・ビエンナーレ」イタリア館
 「Out of the Ordinary: New Video from Japan」ロサンジェルス現代美術館、カリフォルニア
- 2006 「第 15 回シドニービエンナーレ Zones of Contact」Art Gallery of New South Wales (オーストラリア)
 「ARS 06 Sense of the Real」KIASMA フィンランド国立現代美術館、ヘルシンキ
- 2005 「Rising Sun, Melting Moon: Contemporary Art in Japan」イスラエル美術館 (エルサレム)
 「FUSION: Aspects of Asian Culture in the MUSAC Collection」MUSAC・カステイリャ イレオン現代美術館 (スペイン)
 「キリンアートプロジェクト 2005」タマダプロジェクトアートスペース (東京)／キリンプラザ大阪 (大阪)

- 「Fairy Tales Forever – Homage to H.C. Andersen」 AROs Aarhus Kunstmuseum、オーフス（デンマーク）
- 2004 「未来への回路 – 日本の新世代アーティスト」ローマ日本文化会館（イタリア）／ほか巡回
 「D-Segni」サンドレッド レ レバウデング美術財団、トリノ（イタリア）
 「Mediarena: contemporary art from Japan」ゴヴェット ブリュースター アートギャラリー、ニュープリマス（ニュージーランド）
 「Living Together is Easy」水戸芸術館現代美術ギャラリー（茨城）／ヴィクトリア州立美術館、メルボルン（オーストラリア）
 「My Story」The Netherlands Media Art Institute、アムステルダム（オランダ）
- 2003 「東芋×できやよい につぼんの、ななかむら」キリンプラザ大阪
 「How Latitudes Become Forms: Art in a Global Age」ウォーカー アート・センター、ミネアポリス（アメリカ）
- 2002 「ForwArt: a choice」ベルギー王立美術館ほか、ブリュッセル（ベルギー）
 「カフェ・イン・水戸」水戸芸術館現代美術ギャラリー（茨城）
 「第25回サンパウロ・ビエンナーレ – 大都市のイコノグラフィー」Pavilhao Ciccillo Matarazzo、イビラプエラ公園、サンパウロ（ブラジル）
- 2001 「＜現代美術へのいざない＞アフター・イメージ – 残像」国立国際美術館（大阪）
 「第1回横浜トリエンナーレ – メガ・ウェイブ 新たな総合に向けて」横浜赤レンガ倉庫（神奈川）
 「アー・ユー・ミーニング・カンパニー、中村哲也、ナウイン・ラワンチャイクン、東芋」Rice Gallery by G2（東京）
 「混沌から躍り出る星たち 2001」草月ホール（東京）
 「ヴァレンシア・ビエンナーレ」（ビデオ上映プログラム「VideoRom」出品）、Calles de Valencia ほか複数会場、ヴァレンシア（スペイン）
 「Image Festival of Independent Film and Video」Innis Town Hall ほか複数会場、トロント（カナダ）
 「生きろ – be alive」クレラー・ミュージーラー美術館、オッテルロー（オランダ）
- 2000 「RETINA2000 INTERNATIONAL FILM & VIDEO」セイエ文化センター（ハンガリー）
 「日本芸術短編映像映画上映展」ドイツ映画博物館、フランクフルト（ドイツ）
 「オーバーハウゼン国際短編映画祭」Filmpalast Lichtburg、オーバーハウゼン（ドイツ）
- 1999 「Exit: international film & video」チゼンヘイル ギャラリー、ロンドン
 「神戸アートアニュアル'99『私⇄』」神戸アートヴィレッジセンター（兵庫）
 「キリン コンテンポラリー・アワード 1999 受賞作品展」キリンビール新川本社（東京）／キリンプラザ大阪
 「京都造形芸術大学卒業制作展」京都市美術館

受賞歴

- 2012 平成23年度 兵庫県芸術奨励賞
- 2011 第61回芸術選奨新人賞美術部門
- 2008 平成20年度タカシマヤ美術賞
- 2007 Prix Ars Electronica 2007 Honorary Mentions (Hybrid Art)
 平成18年度 神戸市文化奨励賞
- 2005 第12回日本現代芸術奨励賞
- 2004 第23回京都府文化賞奨励賞
- 2002 五島記念文化賞美術新人賞
- 2001 平成12年度 咲くやこの花賞（美術部門）
- 1999 京都造形芸術大学卒業制作展学長賞

キリン コンテンポラリー・アワード 1999 最優秀作品賞
BBCC ネットアート&映像フェスタ 1999 映像部門最優秀作品賞

主なパブリック・コレクション

横浜美術館（神奈川）
国立国際美術館（大阪）
兵庫県立美術館
原美術館（東京・群馬）
国際交流基金（東京）
高松市美術館（香川）
ストックホルム近代美術館（スウェーデン）
ゴヴェット ブリュースター アート ギャラリー、ニュープリムス（ニュージーランド）
MUSAC カスティーリャ イ レオン現代美術館（スペイン）
イスラエル美術館、エルサレム
カルティエ現代美術財団、パリ
バーミンガム美術館、アラバマ（アメリカ）
フォートワース現代美術館、テキサス
ロサンゼルス現代美術館、カリフォルニア
ニューヨーク近代美術館

その他の活動

- 2022 舞台構成・演出・美術 | 日仏共同制作舞台『もつれる水滴』オーバード・ホール、東京芸術劇場、山口情報芸術センター、沖縄文化芸術劇場、フランスツアー / エルプフ、ラ・クールヌーヴ、アラス、コニャック（11-12月）
- 2020 舞台構成・演出・美術 | 映像芝居『Tabaimo and Maki Morishita: Fruits borne out of rust』アメリカ / カッター / ロサンゼルス、ミドルタウン、ワシントン D.C.、ニューヨーク（2-3月）
- 2016 舞台構成・演出・美術 | 映像芝居『錆からでた実』東京芸術劇場 / 東京
- 2014 舞台美術 | 『錆からでた実』春秋座 / 京都
- 2013 舞台美術 | 『錆からでた実』青山円形劇場 / 東京
アニメーション参画 | 杉本文楽 人形浄瑠璃『曾根崎心中』ヨーロッパ公演
- 2012 装画 | ヒカシュー アルバム『うらごえ』ジャケット
- 2009 装画 | 戌井昭人『まずいスープ』新潮社
- 2008 コラム連載 | 『随想』神戸新聞（9-12月）
- 2007-08 コラム連載 | 『をちこち散歩』国際交流基金
- 2007 装画 | 春日武彦『無意味なものと不気味なもの』文藝春秋
- 2006 アニメーション映画 | アニメーション映画誕生 100 年記念 オムニバス・アニメーション『Tokyo Loop』参加（《公衆便女》）、製作・配給：イメージフォーラム
舞台美術 | Batsheva Dance Company 「FURO」 Judiska Teatern / スtockホルム、スウェーデン
挿画 | 新聞連載小説『悪人』吉田修一著、朝日新聞社（3月24日-2007年1月29日）
コラム | 《アート様様》連載、『Domani』小学館（4-12月号）
- 2005 装丁・挿画・ブックデザイン | グリム兄弟著、矢崎源九郎訳『カエルの王さま または鉄のハインリッヒ』新風舎・ワコールアートセンター
- 2003 表紙絵連載 | 『群像』講談社（1-12月号）
コラム | 《潮音風声》連載『読売新聞』夕刊文化面（1-10月）